

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 8 月 18 日(2023.8.18)

【公開番号】特開 2022-40675(P2022-40675A)

【公開日】令和 4 年 3 月 11 日(2022.3.11)

【年通号数】公開公報(特許)2022-044

【出願番号】特願 2020-145487(P2020-145487)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 9 日(2023.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、を備える遊技機であって

、

前記演出実行手段は、

第 1 演出設定および第 2 演出設定を含む複数の演出設定のうち、設定された演出設定に基づいて演出を実行可能であり、

前記第 2 演出設定であるときには、前記第 1 演出設定のときよりも、

特定演出を選択して実行する可能性が低く、

30

前記特定演出とは異なる非特定演出を選択して実行する可能性が高く、

前記非特定演出として、第 1 非特定演出と第 2 非特定演出とを実行可能であり、

前記第 2 演出設定であるときには、前記特定演出を選択せず、

前記第 1 非特定演出は、前記特別遊技状態になる期待度について、前記特定演出との差が

、前記第 2 非特定演出よりも小さく、

前記第 1 非特定演出の前記第 1 演出設定であるときの選択確率と前記第 2 演出設定であるときの選択確率との差は、前記第 2 非特定演出の前記第 1 演出設定であるときの選択確率と前記第 2 演出設定であるときの選択確率との差よりも大きいことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の遊技機は、

演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、を備える遊技機であって

、

前記演出実行手段は、

第 1 演出設定および第 2 演出設定を含む複数の演出設定のうち、設定された演出設定

50

に基づいて演出を実行可能であり、

前記第 2 演出設定であるときには、前記第 1 演出設定のときよりも、

特定演出を選択して実行する可能性が低く、

前記特定演出とは異なる非特定演出を選択して実行する可能性が高く、

前記非特定演出として、第 1 非特定演出と第 2 非特定演出とを実行可能であり、

前記第 2 演出設定であるときには、前記特定演出を選択せず、

前記第 1 非特定演出は、前記特別遊技状態になる期待度について、前記特定演出との差が

、前記第 2 非特定演出よりも小さく、

前記第 1 非特定演出の前記第 1 演出設定であるときの選択確率と前記第 2 演出設定である

ときの選択確率との差は、前記第 2 非特定演出の前記第 1 演出設定であるときの選択確率

と前記第 2 演出設定であるときの選択確率との差よりも大きいことを特徴とする。

10

20

30

40

50